



ふんばり

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.25

2018年3月発行

多文化共生への第一歩 ～石川地区で外国人住民と地域住民の交流会～



▲石川地区のごみに関するルールを説明する石川地区町内会長会の高井理事(中央)
▼母国とは異なる慣習やルールに、真剣に耳を傾ける外国人の皆さん



▲温かく接する石川地区住民の皆さんは、まるで日本のお父さんとお母さんのようです



1月28日(日)、石川公民館で多文化共生推進事業「外国人マナー教室と料理交流会」が開催され、主にベトナム人実習生の外国人住民20名、地域住民29名、公民館、協会、派遣事業所など総勢60名が参加しました。

白山市では近年、外国人住民が急増しており、その多くは企業実習生です。石川工業団地のある石川地区の外国人住民は3.6%と、市内でも特に多い地域です。外国人住民の皆さんは、交流機会が不足し孤立しがちであることから、地域住民と軋轢が生じるということも少なくありません。

外国人住民と地域住民がお互いに理解しあい、触れ合う機会をつくってもらいたいとの思いから、石川地区町内会長会と石川公民館から市に要望があり、当協会もお手伝いして、今回初めての試みとなる交流会が実現しました。

石川地区住民の皆さんの「せっかく日本に来ているのだから、寂しい思いをするより、地区に良い思いを持ってもらいたい」との願いで実現した今回の交流会は、地域の多文化共生への大きな第一歩となりました。

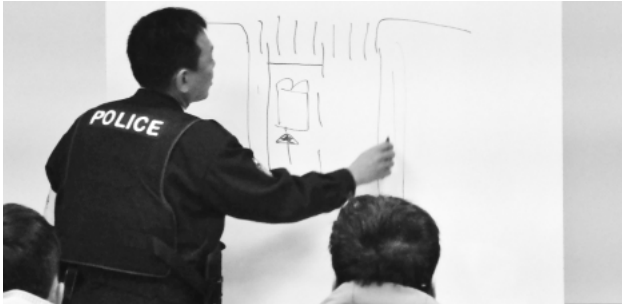
C・O・N・T・E・N・T・S

■ 特集 石川地区多文化共生推進事業	1～3
■ 国際交流サロンのページ	4～6
■ H.I.A だより	6～7
■ H.I.A からのお知らせ	8

特集

交流会では、外国人向けと日本人向けにそれぞれ講習を行い、石川地区での生活ルールや外国人実習生の実態などを知ってもらいました。講習後はいっしょに作ったベトナム料理の試食交流会でお互いの距離を縮めました。

外国人住民向け講習 ～交通ルールと防犯・ごみ分別～



石川地区町内会長会の高井理事のごみ分別教室では、ごみを集積所に毎日出す事例が見られることから、一般ごみの曜日の確認や資源ごみでは、ペットボトルのフィルムを剥ぎ取って分別するなど、実物を見せながら、わかりやすく説明していただきました。

また、白山警察署福留駐在所署員（写真）からは、数年前に同地区の交差点でインドネシア人の実習生が亡くなるという痛ましい事故があったことから、交通ルールについては熱の入った説明と注意事項がありました。ともに、地域に密着したマナー教室となり、来日間もない実習生の皆さんにとって、この地で生活する心構えができたようでした。

地区住民向け講習 ～技能実習制度を学ぶ・ベトナムの紹介～



地区住民の皆さんを対象に、市が本市の外国人住民数の推移等の現状を紹介したあと、石川情報交流事業協同組合の黒田さん（写真左）が、企業実習生の派遣までの流れや技能実習制度について解説しました。また、同組合の通訳を務めるクオンさん（写真右）が、ベトナムの文化をスライドや動画で紹介しました。

ベトナム料理作りと試食交流会 ～やさしい日本語でコミュニケーション～

石川情報交流事業協同組合のクオンさんの奥様リンさんに教わりながら、地区の女性ボランティアの皆さんが、ベトナム料理の生春巻きとトマトやパイナップルの入った海鮮鍋を一緒に作りました。

試食交流会での共通語は、「やさしい日本語」です。おいしいお料理を食べながら和気あいあいと行われ、最後は、ベトナム国歌とふるさとの歌の交換で閉会しました。



●●●●● 参加した白山市国際交流協会部会員の声 ●●●●●

日本語部会員
北陸大学国際センター勤務
准教授 横田 隆志 さん



多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと」です。言葉では簡単ですが、実行するのは難しいですね。しかし、簡単に言うと「他の人との違いを楽しみましょう」ということのような気がします。今回の活動ではこの「違い」をみなさんが楽しんでいるようでした。このような活動が白山市のいろいろな場所でできたらいいなと思っています。今回の活動はその第一歩ですね。

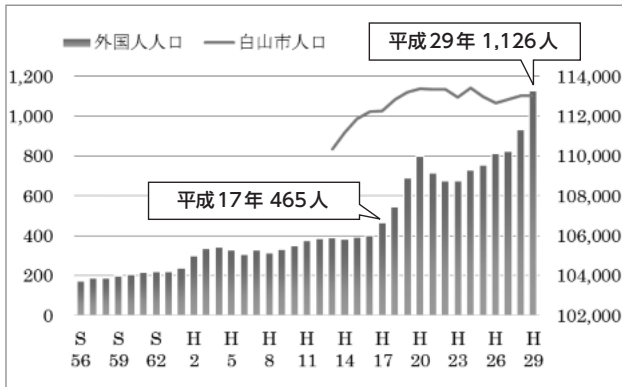
試食交流会を担当
日本語部会員 中嶋 真美 さん



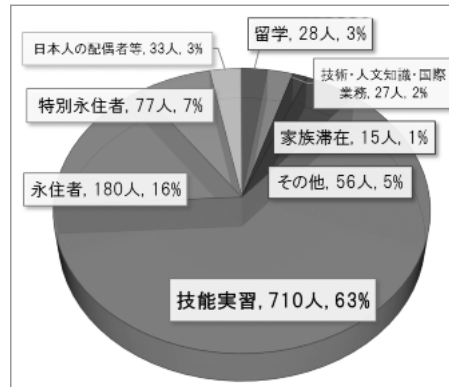
： 石川公民館で出会った皆さんにまた会いたいなあ…。今、つよく思っています。なぜそう思うのか…？「国際交流」じゃなく、「人と人の交流」のてんこ盛り！が私の「また会いたいなあ」につながっている気がします。このような交流会が、もっといろんな場所で、いろんなカタチで行われるといいなあと感じました。今回の「次の一歩のための最初の一歩」、楽しかったです!!「次の一歩」を心待ちにしています。関係の皆様、ありがとうございました。

★増え続ける外国人住民 (データは平成29年12月末現在)

白山市の外国人住民数推移



在留資格別 構成比



国籍別

国籍・地域	人数
1 ベトナム	413
2 中国	366
3 韓国・朝鮮	89
4 フィリピン	85
5 ブラジル	30
6 インドネシア	24
7 ミャンマー	22
8 米国	13
8 台湾	12
9 ネパール	11
その他	61
計	1,126

合併した平成17年に比べ、外国人住民が2.4倍に増加しました。昨年11月、技能実習法が施行され、実習期間が、監理団体によっては、3年から5年に延長されるほか、対象職種が拡大されるなど、今後さらに外国人実習生の増加が見込まれることから、職場や地域において、多文化共生の意識が求められます。

石川地区町内会長会理事・
福留南一丁目町内会長 **高井 康夫 さん**

石川に来て良かったと思うようになって欲しい

初めは、折角石川地区に働きに来たのですから、良い思い出を持って帰国してほしい、交通安全やごみ分別等の日本のルールを理解し、お互いが気持ち良く生活ができて尊敬し合うようになって欲しいとの思いでありました。今回取り組ませていただきました内容は素晴らしく、地区の皆様の実情を知っていただく良い機会であったと思います。出会った青年たちは素直で、多くのことを吸収しようとする姿には驚きさえ感じました。自国の料理を囲んでの交流会は大変楽しく、美味しかったです。文化の違いをお互いが認め合う交流を、今後も続けていきたいと思っています。

石川公民館長 **中江 秀久 さん**

マナー教室と 国際料理試食交流会を終えて

1月28日に石川公民館で、市と市国際交流協会等の協力を得て、ベトナム人技能実習生との交流会が開催でき、お世話いただいた関係者の皆様にお礼を申し上げます。石川地区には、近年多くの外国人技能実習生が居住しており、これまで自転車で通勤する彼らの姿を見かけることはあっても、地区住民との交流はなく、今回の交流会を通じて、近隣の企業に勤めて3年～5年で帰国することを初めて知った地区住民も多かったようです。これからも、お互いの立場を理解し地域の行事に参加する機会を設けることにより、遠い異国から日本に働きに来た彼らと地区住民との交流が深まることを期待しています。

外国人参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ・私にとって、地区の住民の皆さんと会うのはとても楽しかったです。入国したばかりなので、交流会の内容はぜんぶ納得しなかったけども、住民の皆さんが親切で熱心だと思います。これから、もっとこんな交流会に参加したいと思います。日本語が上手になるように、皆さんよろしく願いいたします。
- ・今日の交流会、楽しかったです。たくさんの日本人と日本語で話しました。3年間日本で仕事が上手になったり、帰国したら、いい仕事を探したり、もっと日本語を勉強したいと思います。日本のルールをきちんと守ります。
- ・機会があったら、日本人とベトナム人が文化交流をしたり、地区の住民のマナーを分かるように、もっと住民の皆さんと交流したり、日本語で話したいと思います。どうもありがとうございました。

庁内においても 多文化共生に向けて取り組み

- 1月25日、外国人住民と関わりが深い関係各課の職員が集まり、外国人住民への対応についての情報交換や課題の共有等を行う「多文化共生推進庁内連絡会」を行いました。

- 関係各課の職員からは、外国人住民の子どものことで、その外国人保護者の通訳の課題が挙げられ、当協会の小堀職員が出席し、国際交流サロンでのサポート状況や協会の通訳翻訳サポーター制度を紹介しました。今後も定期的に庁内で情報交換を行っていく予定です。





“サロンのページ”

白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間 9:15～18:00
 休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
 場所 〒924-0872 白山市古城町2（松任図書館向かい、松任文化会館横）
 （4月からは、松任文化会館カルチャー棟2Fに引っ越します。）
 TEL/FAX 076-274-3371
 E-mail misalon@asagaotv.ne.jp
 HP <http://www.asagaotv.ne.jp/~misalon/index.html>

Facebookで、日々のサロンの様子をアップしています！「白山市国際交流サロンHIA」で開いてね。

日本語部会

日本文化体験 俳句教室

11月5日(日)

千代女の里俳句館にて、白山市俳句協会の方を講師に俳句教室を開催しました。当日はお天気にも恵まれ、参加者は俳句館に隣接する庭を見て回り、「秋」を実感することができました。季語についての指導を受け、いざ俳句作りに挑戦です！指を折って5・7・5を数え、季語を入れて作っていました。

講師の先生が、参加者の句の一つひとつに講評をして下さいました。「四苦八苦しながら作った句は自分だけの句で、時間がたってその句を読み返すと今日の日の情景を思い出すことができる」とのコメントが印象に残りました。

俳句は難しいという印象ですが、日本語クラスでも俳句を自分で作ってみる機会を設け、せっかく俳句のまちである白山市にきたのですから、俳句に慣れ親しんでもらえたらうれしいです。当日、参加者が作った句を紹介します。

ベトナム出身 チャンニライさん

つわのはな とびしあるく あかいくつ

フィリピン出身 ジョヌル・ルイス・シカワさん

あまのきら いけにうつつて こいもいる

石川公民館で出張日本語クラスが始まりました

国際交流サロンが遠くて、日本語が勉強したくても通えない外国人住民のために、日本語部会では、地域の公民館で日本語クラスが開けないものかと度々話し合っていました。そんななか、1月に開催した石川公民館での「外国人マナー教室と料理交流会」が縁で、石川公民館の協力を得て、2月から、近くに住むブラジル人主婦と同地区の日本語サポーターの日本語教室が始まりました。ママでもある彼女は、「漢字も読めるようになりたい！」と頑張っています。こういった出張クラスを市内のいろいろなところで行えるように地域と連携していくことが、これからの課題だと感じています。

共生交流部会

のとじま水族館へバス研修 11月19日(日)

サロンで学ぶ外国人の皆さんから「行きたい！」というリクエストが多く出ていたのとじま水族館へ行きました。寒い日で、雨も降っていたため、予定していた千里浜を走ることはできませんでしたが、道中に立ち寄ったレストハウスでは、砂の像を見ることができ、皆さんとても喜んでいました。のとじま水族館に到着して、まず出会えたのはジンベエザメ！一同、悠遊と泳ぐ姿に釘付けで、写真もたくさん撮影し、なかなか館内を進んでいけないほどでした。「水族館に行くのは初めて！」という参加者が多く、屋外で行われたイルカショーでも大興奮でした。



国際理解部会

ハロウィンデー

10月29日(日)

毎年恒例となったハロウィンデーを今年も松任児童館、松任図書館と合同で開催しました。今年は台風の影響で初めて雨のハロウィンとなりました。児童館はキャンディ入れ作り、図書館はALTによるハロウィンの英語絵本の読み聞かせ、サロンはハロウィン仮装のファッションショーを行いました。ファッションショーでは、仮装した子どもたちに順番に前に出てもらい、最後にはポーズを決めてもらいました。ALTの皆さんからのインタビュータイムもあり、「What's your name?」などの質問に照れながらも一生懸命答えていました。恒例のゲームタイムでは、箱を棒で叩き割るとたくさんのお菓子が飛び出てくる「ピニャータ」やトイレトペーパーでぐるぐる巻きになってミイラに扮する「ミイラゲーム」を行いました。最後には、CIRのダニエルが1番素敵なミイラに変身できたチームを選びとても盛り上がりました！



国際理解部会

CIRとALTによるイングリッシュセッション(英語サロン)を開催

7月、8月に白山市に着任したCIR(国際交流員)とALT(外国語指導助手)の皆さんが、自己紹介を兼ねて、サロンで協会員や市民向けにイングリッシュセッション(英語サロン)を開催し、出身国やホームタウンのこと、自分自身のことを紹介しました。

CIRダニエルさん(イギリス出身)による「私のイギリス紹介」

10月25日(水)はダニエルさんが担当してくれました。生まれや趣味、どのように日本語に興味を持ち、上達をさせたのかなどについて話しました。参加した皆さんからも、アメリカ英語とイギリス英語の違いやイギリスの文化について、たくさんの質問がありました。ダニエルさんは、全ての質問に、流暢な日本語で答えてくれて、とても盛り上がりました。



ALTアバロンさん(ニュージーランド出身)とサブリーナさん(アメリカ出身)による「My hometown」

11月12日(日)はアバロンさんとサブリーナさんが担当し、母国の先住民族や料理、有名な場所、動物、スポーツなどについて、やさしい英語で紹介しました。ニュージーランドの公用語は、英語やマオリ語、ニュージーランド手話などたくさんの種類があるという話や、アメリカにはお菓子のオレオやピクルスを揚げる「ご当地揚げ物」があるという話に、参加者の皆さんはとても驚いていました。最後には、アバロンさんが用意してくれたニュージーランドの名物「マーマイト」と「ファッジ」をいただきながら、和やかに交流しました。



部会全体事業

国際交流運動会

10月15日(日)

昨年初めて開催し皆さんから好評だった運動会を今年も行いました。日本人と外国人の総勢68名が参加し、赤組と白組に別れて競いました。競技は昨年と同じく「借り物競争」「パン食い競争」「スプーンリレー」「デカパンリレー」「玉入れ」でした。2回目の開催で、昨年日本の運動会を経験した外国人の方もいて、とてもスムーズに進行できました。参加した皆さんは、子どもから大人まで全力投球です！次は綱引きなど新しい競技を取り入れると、より一層盛り上がるのではないかと感じました。協力してくれたボランティアの皆さんのおかげで準備もとても早くできました。子どもたちもたくさん参加し、国や言葉、年齢を超えての交流ができました。



▲皆で輪になって準備体操

▼借り物競争では、「〇〇貸して！」の声が会場で響き渡りました。



▲パン食い競争では、大人も子どもも大苦戦！

▼玉入れにて、一心不乱に、かごに向かって玉を投げ入れました。



サロントピックス

公民館行事「国際交流クッキング」に参加 11月25日(土)

林中公民館主催の国際交流クッキングにサロンからオーストラリア出身とベトナム出身の方が参加しました。今年はオーストラリア出身のALTミーガン・ハバチャーさんが先生となり、「ナポリタン」や「チョコレートクラックル」を作りました。パスタは小麦粉から作る本格的なもので、太さもいろいろ！子どもたちもとても楽しんで作っていました。ミーガンさんはオーストラリアの紙幣や飾り物などを見せながらふるさとの紹介もしてくれました。子どもたちも興味津々でとても喜んでいました。



友だちの輪

(外国人市民を紹介するコーナーです)

熊瀬さん(中国出身、北成町)



私は昔、留学生として来日し、就職先が決まって、5年ほど前に白山市に引っ越して来ました。その後結婚をし、妻もこの美しい町へ来てくれることになりました。そして長男が誕生し、今は3人+1匹の家族で充実した日々を送っています。

私は妻と比べて日本にいる時間が長いので日本の生活に馴染んでいましたが、妻や子どもにとっては何もかもが初めてでした。言葉の壁や文化の違いはありますが、毎日が「学校」みたいで、新しいことを学んできました。私たちはまだ人生の初心者でしかありませんが、家族一同でこれからの成長を楽しみながら頑張っていきたいと思います。

毎週水曜日の
午後

「国際交流員ダニエルと話そう！」が好評開催中

昨年10月より、ダニエル・ヘリオット国際交流員が毎週水曜日の午後2時から5時ごろまで国際交流サロンに常駐し、市民の皆さんと自由な会話を通して交流しています。前半は大人の方が、後半は小学生や高校生が訪れています。ダニエル国際交流員も「毎週水曜日の午後が楽しみ」と張り切っています。「ダニエルと話してみたい」、「ネイティブイングリッシュに触れたい」、「外国のことが知りたい」などと思われる方はお気軽に国際交流サロンのをぞいでみてください。(申込み不要、入館無料です)



※主に3時30分～4時30分は、小学生を優先していますので、少しお待ちいただく場合があります。ご了承ください。

常連さんの声

毎週学校帰りに通っています。英検などの試験の勉強を添削してもらったり、スピーキングの練習をもらっています。間違えたら日本語で教えてもらえるのでとても分かりやすいです。それだけでなく、イギリスと日本の文化や学校の違いも聞けて楽しいです。

H.I.A. だより

リニューアルHIA国際交流の集い2017

12月10日(日)

毎年恒例のイベント「国際交流の集い」を、協会30周年の今年から、これまでのパーティー形式から、より「交流」や「国際理解」を重視したアクティビティ型にリニューアルして開催しました。12か国・地域の外国人の皆さんと協会員等、総勢196人が集まり、参加者からは、たくさんの人とお話ができ楽しかったとの声が聞かれました。

8つの国と地域の母国紹介ブース

イギリス、中国、フィリピン、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランド、台湾、ブラジル、カナダ、アメリカの国と地域出身の市ALTや在住外国人、金城大学の留学生の皆さんが、「クリスマスやお正月」をテーマに出身国を紹介するブースを出展し、参加者が自由に回って楽しみました。



チーム対抗クイズ大会

世界各国に関するクイズ大会には、チーム総力戦で挑戦しました。



協会設立30周年を記念し、協会特別功労者を表彰しました

協会設立30周年と国際交流サロン開館15周年の節目の今年、これまでの協会活動に対して、長年、ボランティア活動で顕著なご功績のあったお二人を、協会特別功労者として表彰しました。

表彰を受けたのは、日本語部会員の喜多映子さんと日本文化サポーターの川畑康子さんです。喜多さんは、サロンが開館した平成14年以降、現在に至るまでの15年間継続して、日本語ボランティアを行っているほか、外国人の皆さんに茶道や着物着付けの機会を提供しています。また、川畑さんは、平成16年に、サロンでサークル「お箏を楽しむ会」を発足し、現在に至るまで、多くの外国人にボランティアでお箏を指導されています。表彰式は、国際交流の集いの席上で行われ、教え子や学習者の外国人の皆さんからたくさんの祝福を受けました。



▲表彰式にて花束を受け取る川畑さん(左端)と喜多さん(右から2人目)

H.I.A. だより

友好都市ドイツ・ラウンハイム市と提携20周年を記念し再調印

友好都市のラウンハイム市は、白峰地区の桑島化石壁を世に広めるきっかけとなったライン博士の出身地であったことから、平成9年に旧白峰村と友好都市を提携しました。以来、ライン博士顕彰会が中心となって行うライン祭の開催や住民の訪問などの草の根交流が行われています。平成28年、同市のトーマス・ユーヘ市長が来市され、今後の両市の交流をより発展的にするために、「都市間ネットワーク」の提案がなされたため、昨年10月、その答礼を兼ね、山田市長を団長に小川市議会議員、民間交流として、福田裕協会長とライン博士顕彰会の山下恵信会長らが同行しました。現地では、提携20周年を記念し、両市の再調印を行ったほか、提案の都市間ネットワーク調印書にも署名を行い、交流の発展と有効性について話し合いました。



▲20周年調印書を手にする両市長



▲ライン博士コーナーのある市立博物館にて小川市議会議員(左)と両市長



▲日独交流のタベで現地邦人の皆さんと交流

5か国の親善友好都市の小学生と本市の小学生がグリーティングカード交換

姉妹都市交流事業の一環として、本市の小学生と姉妹都市コロンビア市(アメリカ)、瀋陽市(中国)、ペンリス市(オーストラリア)、ラウンハイム市(ドイツ)、ボストン町(イギリス)の5か国5都市の小学生が手作りのグリーティングカードを交換しあいました。今年参加したのは、蕪城小学校の6年生119名で、児童たちは英語で趣味や家族のことなど、思い思いにメッセージを書き、そのお返事として、一人ひとりにカラフルなイラストやシールで彩られたカードが届きました。

瀋陽市の小学生からのグリーティングカードには、一枚一枚に中国の有名な都市の特色を表す絵が描かれていたり、ペンリス市の小学生のカードには、水着のサンタさんの絵が描かれていたりとお国柄が出ており、蕪城小学校の児童たちは、受け取ったカードを友達と見せ合いながら、うれしそうに家に持ち帰りました。



▲カードを作成する蕪城小学校6年児童



▲カードを作成した瀋陽市内の小学生



▲海外のお友達から届いたカードを手渡す国際交流員のダニエルサンタ

ペンリス市で日本語アシスタント体験 ～派遣生OBからのレポート～

私は昨年夏、約3週間ペンリス市でホームステイをしました。ちょうど4年前の夏に、白山市の高校生派遣プログラムに参加させて頂き、今回は私にとって2度目の滞在となりました。

滞在中は、4年前にホストシスターと一緒に通っていたペンリスハイスクールで、日本語クラスのアシスタントという機会に恵まれました。7年生から12年生までの生徒と授業をしました。どの学年もそれぞれ日本語を楽しみながら学んでいました。最上級の12年生は、HSCという大きな試験を控えていたため、スピーキングの練習相手になりました。どの生徒もやる気あって、たくさん質問をしてくれ、私ももっともっと頑張ろうと思いを新たにしました。

今回4年前の高校生の頃と比べて、少し成長した自分を感じることができた素晴らしいペンリス再訪となりました。今後も両市の友好が続いて欲しいと願っています。

大阪大学外国語学部 八木 咲弥佳



▲ペンリスハイスクールにて(前列右端が八木さん)

H.I.A.からのお知らせ

平成29年度会費を納めていただいた特別会員(企業・団体)の皆さんです。厚くお礼を申し上げます。(敬称略、50音順)

No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
1	(株)あさがおテレビ	18	手取川七ヶ用水土地改良区	35	白山市体育協会
2	(株)浅野太鼓楽器店	19	(株)天龍工業	36	白山市町会連合会
3	石川情報交流事業協同組合	20	東武トップツアーズ(株)金沢支店	37	白山市日本中国友好協会
4	医療法人社団 白山会	21	トウエイ工業株式会社	38	白山市文化協会
5	(有)印刷のシコー	22	(株)トスマク・アイ	39	白山市ロシア協会
6	(株)EIZO	23	中村留精密工業(株)	40	(有)フジタ印刷
7	(株)エヌティエル	24	ニッコー(株)	41	(株)北國銀行松任支店
8	学校法人 金城大学短期大学部	25	(株)日本旅行 金沢支店	42	前田印刷(株)
9	協和道路(株)	26	能登印刷(株)	43	松任市農業協同組合
10	グランドホテル白山	27	白山石川ロータリークラブ	44	(株)松建
11	(株)三光製作所	28	白山商工会	45	松任土地改良区
12	(株)三興電機製作所	29	白山商工会議所	46	(株)マップ
13	(株)車多酒造	30	白山青年会議所	47	松任ライオンズクラブ
14	千代野建設(株)	31	(株)羽田合金	48	美川商工会
15	(有)ツクダ自動車	32	白山ロータリークラブ	49	美川ライオンズクラブ
16	鶴来商工会	33	白山市管工事協同組合	50	(株)メープルハウス
17	鶴来ライオンズクラブ	34	白山市北消防団	51	ワコー食品工業株式会社

以上51社(団体)

国際交流サロンの移転について

松任文化会館の改修工事に伴い、国際交流サロンは、現在の施設から、文化会館カルチャー棟の2階へと移転します。現施設は、スペースを喫茶店のモックさんと共有し、15年間多くの方々に親しまれてきましたが、老朽化と手狭により、4月4日(水)を最後に引越します。新しい施設は、現スペースより1.6倍の広さとなり、畳マットを敷いた多目的室では、小さいお子さん連れの外国人ママたちの日本語学習や着物着付けなどの日本文化体験にも活用できます。また、簡単な調理のできるスペースが整備されることから、ちょっとしたパーティーも可能です。なお、4月5日(木)から新施設の使用開始ですが、その前後は、引越し作業で、しばらくご迷惑をおかけします。なお、3月最終週から引越し作業を行う予定



で、人手が必要です。部会員、会員の皆さんのお手伝いのご協力を何とぞよろしくお願いいたします。

お手伝いのお申し出は、国際交流サロンまでお願いします。

▲このスペースで過ごせるのもあと少しです・・・
写真はベトナム人学習者の皆さん、現在の国際交流サロンにて。

はくさんキッズ英語スクールのボランティア募集

国際交流員のダニエルやALTたちが企画した授業を通して、楽しみながら英語を学ぶ「はくさんキッズ英語スクール」を春休みの3月26日(月)、松任総合運動公園体育館で開催します。参加者は市内の小学5、6年生の児童です。当日、スクールをお手伝いしてくれる中高生ボランティアを募集しています。

申込み先：国際交流サロン

E-mail登録にご協力をお願いします

協会イベントのご案内やサロンからのお知らせ、募集案内が随時、届きます。◆Email登録先：misalon@asagaotv.ne.jpへ、ご住所、お名前の明記とE-mail登録希望と書いて、送信ください。

中国・瀋陽市派遣中高生募集

- 対象：市内在住の中学2年生～高校2年生(派遣時)
- 期間：平成30年8月2日(木)～7日(火) 5泊6日
(瀋陽市で2泊3日のホームステイ、瀋陽市内視察、学校訪問、文化体験ほか上海市内視察等)
- 定員：10名
- 費用：約6万円(自己負担分)
- 申込期間：3月23日(金)～4月23日(月)



まずは募集説明会にお越しください!

募集説明会

- 日時：3月22日(木) 19:00～20:00
- 場所：市民交流センター4階研修室AB

【申込み・お問合せ先：国際交流室274-9520】

保護者同伴、申し込み要

編集後記

リニューアル「国際交流の集い」や石川公民館での「外国人マナー教室と料理交流会」など、振り返ってみると新しいことにたくさん取り組むことができた半年間でした。これも偏に協力してくださった協会員の皆さんのおかげです。

来年度も、日本人も外国人も、主催者も参加者も、一緒に楽しむことのできる企画をしていきたいと思っています。「こんなことをしましょう!」という皆さんからのアイデア、絶賛募集中です!(K.T)

発行■白山市国際交流協会(Hakusan International Association)
事務局/白山市役所観光文化国際交流室

TEL 076-274-9520 FAX 076-274-9546

E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp

白山市国際交流サロン

TEL/FAX 076-274-3371 E-mail: misalon@asagaotv.ne.jp